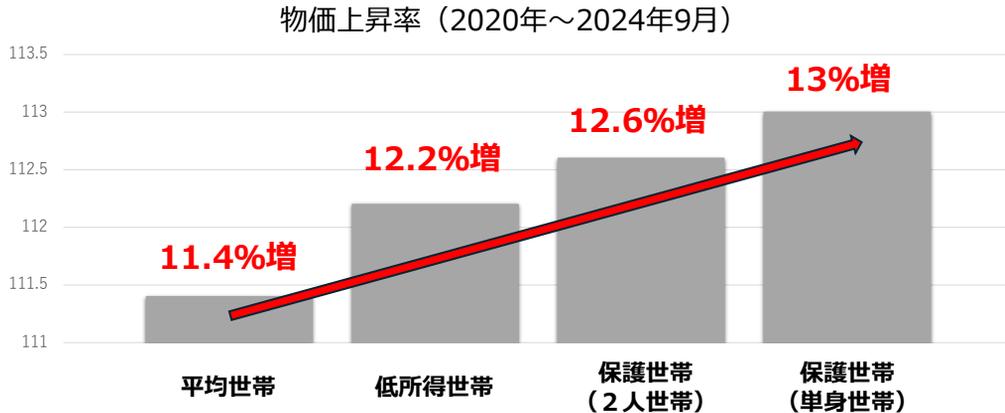
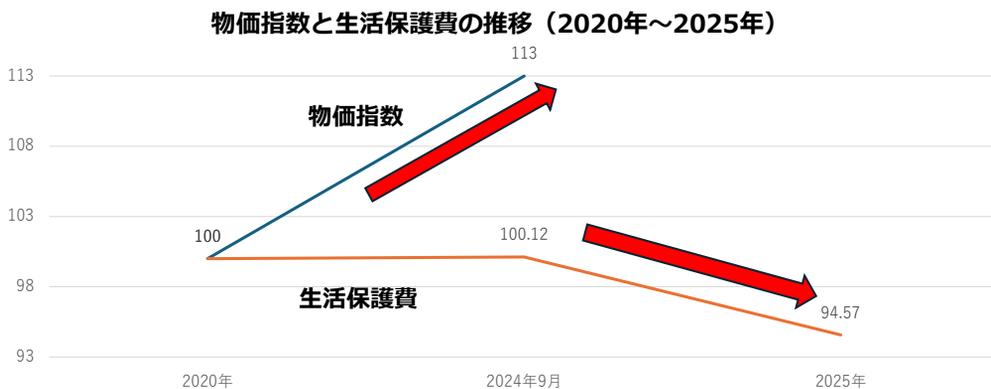


# 1 低所得者ほど物価上昇率が高い



※2020年の消費者物価指数（但し、住居、保健医療、教育に関する品目を除く。以下同じ。）を100とした場合の2024年9月における各世帯別の消費者物価指数。平均世帯は家計調査のウエイトを、低所得世帯は家計調査のうち第1・十分位層のウエイトを用いた。保護世帯については、社会保障生計調査を用いてウエイトを作成した。

# 2 物価上昇なのに保護費引下げ



※物価指数は、社会保障生計調査（単身世帯）に基づいて算出したウエイトに基づき、2020年を100として算出。生活保護費は、75歳の単身者について、2020年の保護費を100として算出。2025年の保護費については、現時点の審議内容に基づいて算出した。